

川越政

新たな企業スタイル確立へ

守りと攻めのバランス重視

製品OEMも手掛ける生地商社の川越政(大阪中中央区)は今期(2021年3月期)新型コロナウイルス感染拡大による市況悪化を受けて「新たな企業スタイルの確立」を優先テーマに守りと攻めのバランスを重視する。

川越浩治社長によれば、20秋冬向けがほぼ出そろったタイミングだが、受注数量は例年の70%にとどまるといふ。さらに、20春夏の店頭が新型コロナ禍でストップしたためその先の「21春夏はもっと悪くなる可能性が高い」と読む。

前期の生地販売は新型コロナの影響を受けず輸出を含めて好調を持続したが、今期は「必ず影響が出てくる」と悲観的な見方。店頭製品の売れ行き不振がタイムラグを伴って生地の受注にも響いてくる見込みだ。

倒産件数の増加が見込まれることから与信管理を徹底した上で、保険で負債からの回避に備えるほか、生地輸出では先払い契約を徹底する。

一方、コロナ収束後に向けて反転への準備を進める。テーマは「新たな企業スタイルの確立」。昨年設置した英国・ロンドン事務所、ベトナム・ホイチミン法人を含めて拠点間のリモート連携を強化するほか、サプライチェーンのほころびが進んでしまつてを見越して新規仕入れ先との関係構築などに人材を投入して対応する。

販売戦略としては、製品OEMで介護ユニフォーム、生地販売でネット通販系パレルやインフルエンサー向けが拡大しつつあることを受け、販売チャネルの拡大と新規分野への進出を進める。

最終四半期で製品OEMが急減し減収増益

20年3月期

川越政の2020年3月期決算は、売上高が前期比4・1%減の23億円だったが、営業利益は8・2%増加した。

第3四半期までは過去最高業績を更新する増収ペースだったが、年明け1月以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響で製品OEM事業の生産地の輸入が停滞、通期業績を押し下げた。生地販売は付加価値品の拡大や輸出増による増収増益で、

品OEMで介護ユニフォーム、生地販売でネット通販系パレルやインフルエンサー向けが拡大しつつあることを受け、販売チャネルの拡大と新規分野への進出を進める。

今期も製品OEMの苦戦は避けられない情勢。は守りの姿勢を強める。

前期の生地販売は新型コロナの影響を受けず輸出を含めて好調を持続したが、今期は「必ず影響が出てくる」と悲観的な見方。店頭製品の売れ行き不振がタイムラグを伴って生地の受注にも響いてくる見込みだ。

倒産件数の増加が見込まれることから与信管理を徹底した上で、保険で負債からの回避に備えるほか、生地輸出では先払い契約を徹底する。

一方、コロナ収束後に向けて反転への準備を進める。テーマは「新たな企業スタイルの確立」。昨年設置した英国・ロンドン事務所、ベトナム・ホイチミン法人を含めて拠点間のリモート連携を強化するほか、サプライチェーンのほころびが進んでしまつてを見越して新規仕入れ先との関係構築などに人材を投入して対応する。

販売戦略としては、製品OEMで介護ユニフォーム、生地販売でネット通販系パレルやインフルエンサー向けが拡大しつつあることを受け、販売チャネルの拡大と新規分野への進出を進める。

最終四半期で製品OEMが急減し減収増益

20年3月期

川越政の2020年3月期決算は、売上高が前期比4・1%減の23億円だったが、営業利益は8・2%増加した。

第3四半期までは過去最高業績を更新する増収ペースだったが、年明け1月以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響で製品OEM事業の生産地の輸入が停滞、通期業績を押し下げた。生地販売は付加価値品の拡大や輸出増による増収増益で、

品OEMで介護ユニフォーム、生地販売でネット通販系パレルやインフルエンサー向けが拡大しつつあることを受け、販売チャネルの拡大と新規分野への進出を進める。

最終四半期で製品OEMが急減し減収増益

20年3月期

川越政の2020年3月期決算は、売上高が前期比4・1%減の23億円だったが、営業利益は8・2%増加した。

第3四半期までは過去最高業績を更新する増収ペースだったが、年明け1月以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響で製品OEM事業の生産地の輸入が停滞、通期業績を押し下げた。生地販売は付加価値品の拡大や輸出増による増収増益で、

縫製動画チャンネル登録者数1万人超

Gジャンを中心としたことから縫製も1日に平均で1000人、多い日には千人、現在2000人の登録があるという。マスクの動画を中心に、過去に配信した動画の再生数も伸びた。登録者は男性が8割だったが、現在は女性9割、男性1割。ボレージョンも行ってきたが、さらにパレ

全体の営業増益にも大きく貢献した。製品OEM、生地販売ともに今期は新型コロナ優先の経営目標とする。



力を発信

山県倉敷市児島の縫製関係者と立ち上げた縫製のYouTubeチャンネル「縫製はぁ」の登録者数、昨年末で登録者数、視聴者層も変わっ

者向けの動画に加え、縫製業に携わる人や、プロから縫製を学ばない人に向けて縫製の知識を共有するオンラインサロンを作ること。計画。洗い加工のフーヴァル(倉敷市)といった地元企業とのコラボレーションも行ってきたが、さらにパレ

麻生地をカット販売

こぎん刺し専門店津軽工房社(青森県弘前市)は7月1日、国内の工芸品を集めた「モノノバ」(東京都新宿区)で、こぎん刺し用のオリジナル麻生地のカット販売を開始する。これまで全国向けにはオンラインショップで販売していたが、実物を



こぎん刺し用の麻生地

することで、こぎん刺しの魅力を広く伝えるのが狙い。

こぎん刺しは、江戸時代に綿の着用に許されなかった農民が、麻の生地に保温性と強度を持たせるために刺しゅうを施したことから生まれた。現代でも独特の風合いやデザインが多くの人に親し

「モノノバ」を発売

カネカ

カネカは特殊樹脂による潜熱蓄熱材を用いたシート状の潜熱蓄熱建材「パッサーモシート」の販売を6月から開始した。

同社によると、住宅で省エネや快適性向上へのニーズの高まりに伴

い、潜熱蓄熱建材が注目されている。

パッサーモシートは特殊樹脂製潜熱蓄熱材を使用

次亜塩素酸水を販売

飯田織工

染色加工の飯田織工(大阪市東淀川区)は7月中旬から電解法による次亜塩素酸水の販売を始める。省エネ、サステイ

奈良県広陵町 町産靴下をブランドに

国内屈指の靴下生産量を誇る、奈良県広陵町が7月1日、新たな靴下販売所「広陵くつした博物館」をオープンする。町内の公共施設、グリーンパレス(所在地)広陵町大字笠168番地)の1階にあり、地元靴下メー

「くつした博物館」開業

国内屈指の靴下生産量を誇る、奈良県広陵町が7月1日、新たな靴下販売所「広陵くつした博物館」をオープンする。町内の公共施設、グリーンパレス(所在地)広陵町大字笠168番地)の1階にあり、地元靴下メー

町内の靴下メーカーが店舗名を考案し、ロゴマークも新たに作った。店舗すべそほの大通り沿い2カ所に遠くからでも目に入る大型看板を設置しアピールする。町内に本社を置く10社の代表的な商品を展示、販売する。

商品を置く企業は次の10社(50音順)。

馬見靴下事業協同組合、イケバタインダ



くつした博物館